

三遠南信地域連携センター 研究プロジェクトが文科省 学術研究高度化推進事業に選定されました

三遠南信地域連携センターの研究プロジェクト“グローバルな視点に立った「地域づくり」トータルシステム”（研究代表者 佐藤元彦教授）が、文部科学省の平成17年度私立大学学術研究高度化推進事業（社会連携研究推進事業）に選定されました。

選定プロジェクトは、私立大学の研究基盤の整備、研究機能の高度化を図るため重点的かつ総合的な支援が行われます。本学の研究プロジェクトは、三遠南信地域の実際の「地域づくり」に役立つとともに、世界の中でも位置づけて「地域づくり」という世界的な課題の解決に貢献することを目指します。主な研究領域は次のとおりですが、今回の研究では、豊橋技術科学大学と連携の下に、エコロジー工学、技術論などの視点を取り込むことを予定しています。

主な研究領域

<p>① 三遠南信地域における持続可能な社会システム</p> <p>地域振興に「持続可能性」と「住民」という視点を盛り込み「地域づくり」を考えます。地域のエコロジー工学の拠点である豊橋技術科学大学、NPOの三遠南信アミとの協働作業を行い、三遠南信地域の自然、文化、歴史等の特性に配慮した具体的な指針をとりまとめます。</p>
<p>② 「地域づくり」データベースの活用法</p> <p>地図上に様々な情報を重ね合わせて表示・分析する地理情報システム（GIS）を駆使して 歴史、文化、民俗、地形、人口、交通網、社会インフラ、産業インフラ、経済状況等の諸データを 三遠南信地域ベースで整備し一般利用に提供できるようにします。</p>
<p>③ 「地域づくり」評価システム</p> <p>地域づくりの主体として住民を重視。地域住民とのコミュニケーションを基本に、満足度調査などを 定期的に実施しながら目標の達成状況や効果を計測・評価するシステムを開発する。</p>
<p>④ 東アジア諸地域の「地域づくり」の経験と課題</p> <p>本学がこれまで国際交流を深めてきた東アジア諸国の研究教育機関との間に「地域づくり」東アジア国際交流 ネットワークを形成。東アジア地域で、実際に「地域づくり」を課題としている機関・研究者との連携を通じて、「地域づくり」に関わる国際比較研究等を進めます。</p>

※ 学術研究高度化推進事業－社会連携研究推進事業とは
 実用性の高い又は萌芽的な研究について、地方自治体や地場産業等地域社会との有機的な連携の下に行われ、研究成果が地域社会への振興に資する共同研究プロジェクトの実施に必要な研究施設、研究装置・設備の整備に対し、重点的かつ総合的支援を行う。（文部科学省）